



塚越小だより



令和7年度 No.2
令和7年5月1日
蕨市立塚越小学校
048-442-2218

思いやりの心で 幸せいっぱいな学校に

校長 竹越 典子

新緑が目には鮮やかな季節になりました。新1年生も加わり、子供たちは毎日の学校生活を生き生きと過ごしています。

新しい環境にだんだん慣れてきた頃ですが、子供たちは力強く学校生活を送っています。1年生にとって、4月は、学校での様々なことがどれも初めての体験で緊張の連続だったと思います。1年生を見ていると、1日1日いろいろなことを吸収し、少しずつ身に付けていっている様子がよく分かります。最初はうまくできないことも経験することで少しずつできるようになっていく、その積み重ねでしっかりと身に付いていくのだな…と、頑張っている姿から再認識することができました。子供に未経験のことをやらせることは、大人にとっては、勇気が必要なときもありますが、失敗を恐れず、経験させることで成長できることもたくさんあると思っています。「やってみよう!」のチャレンジ精神ですね。

そして、2年生から6年生までの子供たちも、新たに塚越小の仲間となった1年生に、声をかけたり、助けたりする場面もよく見ます。掃除の時間も掃除の仕方を教えながら一緒に掃除をしてくれています。6年生の図工の授業では、「絵のお話でプレゼント」という単元で、身近な出来事を題材にし、自分たちが考えたキャラクターを登場させた紙芝居を作っています。「きっと1年生、喜ぶね。」などの会話をしながら、1年生のことを思って笑顔いっぱい紙芝居を制作しています。出来上がったら、1年生の教室に置いて読んでもらおうそうです。また、先日の1年生を迎える会では、各学年とも、趣向を凝らした出し物を披露し、1年生への思いが伝わる温かい雰囲気の家となりました。

5月のお話朝会では、塚越小キャッチフレーズの中の「おもいやり」を大切にしようという話をしました。その中で、『思いやり算』を紹介しました。友達やみんなを笑顔にするために、必要なのが「おもいやり」です。たくさんの思いやりで、笑顔かがやく塚越小にしたいですね。

温かい雰囲気でスタートした R7 年度も、子供たちとともに、教職員一丸となって、幸せいっぱいな学校になるよう引き続き努力していく所存です。



思 い や り 算

+	「た す」	<u>たすけ</u> あうと	大きな力に
-	「ひ く」	<u>ひきう</u> けると	喜びが生まれる
×	「かける」	声 <u>を</u> かけると	ひとつになれる
÷	「わ る」	いた <u>わ</u> ると	笑顔は返ってくる

